

四日市版コミュニティスクール報告書（令和5年度総括）

四日市市立朝明中学校

校長 稲毛 弥生

1 コミュニティスクールのねらい

保護者及び地域住民が一定の責任を持って学校運営に参画し、学校教育活動の充実に向け、学校、保護者及び地域住民が協働し、「学校づくりビジョン」の実現を図ります。

取組としては、地域理解・地域貢献学習を主軸とし、地域住民との連携を積極的に図って推進し、地域に関わる学習と地域と連携した活動を展開していきます。活動を通して、生徒が地域に対する関心を高め、郷土を愛する心を育むとともに自己の生き方を考える力を一層育んでいきます。

活動内容

- ① 学校訪問、授業や行事の参観等により、教育活動への参画と評価を行い、学校を支援します。
- ② 地域の声を学校へ、教育活動の様子を地域へと情報の橋渡しをします。
- ③ 学校の教育活動を支援するゲストティーチャー等の必要な地域の人材や団体と学校の橋渡しをします。
- ④ 学校自己評価の結果や学校づくりビジョンに対する学校関係者評価をします。

2 コミュニティスクールの実践

(1) 教育活動の実践事例

① 生徒の活動・学力及び生活実態を把握する

本年度は運営協議会を3回開催しました。第1回運営協議会では、校長より学校づくりビジョンや年間計画、学校の取組、生徒の様子等を説明した後、各委員の方に、授業を参観していただき、ご意見を伺いました。

2学期の第2回運営協議会は大矢知興譲小と八郷小の3校合同で開催しました。朝明中学校校区として各校の委員の方たちと話し合い、大変意義のある会議となりました。本校の生徒の様子を参観いただいた他、地域の登下校の実情や交通マナーの様子、不登校の現状等を確認する場になりました。それ以外に体育祭や文化祭を観覧していただき、ご意見をいただきました。



3学期の第3回運営協議会では、本年度の学校評価や活動報告、次年度の活動計画についてご意見を伺いました。落ち着いた学習環境や生徒の様子に対する高い評価とともに改善に向けたご助言をいただきました。

② 地域の教育力を生かした特色ある教育活動

総合的な学習の時間を軸に、各学年で工夫し、地域の力と人材を生かしたさまざまな学習活動を行いました。昨年度まで縮小していた地域学習についても、フルサイズで実施しました。

以下に列挙します。

<1年生>

- ・ 専門家を招いた「くるべ古代歴史講座」
- ・ 北消防署分署を訪ねての防災学習
- ・ 地域学習発表会
- ・ 箏の学習



< 2年生 >

- ・「マナー講座」

職場体験学習の事前学習として、事業所の方に講話・体験形式での講座を実施

- ・箏の学習



< 3年生 >

- ・地域清掃活動（県道 64 号、北勢バイパス周辺の清掃活動）を実施



(2) コミュニティスクールの取組による効果

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、地域行事や各種の訪問・参加の機会が増えました。様々な取り組みについて、参加形態や方法を持続可能な方向に工夫しながら実施でき、生徒や保護者から好評を得ました。

12月に実施した学校自己評価の集計結果では、【特色ある教育課程の編成】の「総合的な学習の時間や行事等は特色ある教育活動を行っている（生徒：興味や関心を持って取り組める）」の設問で、生徒が3.6ポイント（昨年度より0.1ポイント上昇）、保護者が3.1ポイント（昨年度より0.1ポイント下降）と多少の増減はあるものの、引き続き高い評価を得ました。

また、【保護者や地域の人たちとの連携】の項目では、生徒が3.4ポイント（昨年度と同じ）、保護者が3.3ポイント（昨年度と同じ）と生徒・保護者ともに引き続き高い評価を得ました。

一方、【情報受信の努力】は保護者が3.2ポイントと昨年度より0.1ポイント低くなりました。今後、学校をより身近に感じられるように様々な情報発信を心がけていきます。

今後も、地域の方々や保護者の皆様とともに、地域一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を目指し、様々な取り組みを推進していきます。

3 今後に向けて

(1) 生徒の現状から見える課題

運営協議会の委員から、「コロナが明け、授業を本当に楽しそうに受けていた。今後、地域に生徒が出てくるだろう。地域も協力していく。」や「掲示物について、廊下に掲示されていた後輩へのメッセージに感動した。いつも学校へ来ると子どもたちが作成した掲示物を見るのが楽しみです。」といったお褒めの言葉をいただきました。

一方、課題としては、「自転車のマナーについて、学校だけでなく、地域住民が見守りをして地域に立つことで、子どもたちとの関係を築いて注意できるようになることが必要ではないか。」や「校則改正については、前から必要だと思っていた。不思議なルールがあった。ただ、学校が荒れた当時はこのような校則が必要だったのだろう。」という話題が出ました。

魅力的で安心安全な学校にしていくために、大きな課題の一つである自転車の安全マナーの向上をはじめ、今後に向けて地域とともに有効な手立てを模索していきます。

(2) 地域とともにある学校づくりの推進

今年度も校区内の3校合同で運営協議会を開催することができ、地域全体で目指すべき学校づくりの内容について、考えていく良い機会となりました。

今後もコミュニティスクール運営協議会を中心に、学校と地域住民及び保護者が信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善並びに生徒の健全育成を図っていきます。そして、地域の方々とも目標やビジョンを共有し、地域に根差した教育の充実のために、コミュニティスクール運営協議会を一層推進していきたいと思っております。

令和5年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立朝明中学校

委員長 毛利 良一

校長 稲毛 弥生

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営委員会 (10日)	<ul style="list-style-type: none"> ・市教育委員会より委嘱状交付 ・運営協議会組織の確立 ・学校づくりビジョンの承認 ・年間計画と活動方針の検討 ・授業の参観
6		
7		
8		
9		<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭観覧等 (27日)
10		<ul style="list-style-type: none"> ・地域理解学習 (24日) ・給食喫食会 (30日)
11	第2回運営協議会 (7日) 八郷小・大矢知興譲小と 3校合同開催	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭観覧等 (2日) ・各校CS活動や教育活動の実態と課題の交流 ・朝明中の授業の参観 ・今後の朝明中学校区の課題 ・地域貢献学習 (28日)
12		
1		
2	第3回運営協議会 (6日)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動報告 ・次年度の活動計画 (学校づくりビジョン(案)) について ・学校教育診断集計結果 ・学校関係者評価 ・次年度運営協議会組織について
3	卒業式参列 (7日)	